

タイトル (活動概要)	87 記憶力お絵かきゲーム	アプローチ (関連する力)		「仲間づくり」 ⑤ ⑥ ⑫ ⑮	
タイミング (実施時期)	友達に慣れてきたころ	活動 場所	教室	所要 時間	15分
対象学年	幼・小低・小中・小高 中1・中2・中3・高	対象 規模	学級	活動 場面	学級活動
活動の ねらい	<p><背景>グループ活動に慣れないため、分担・協力の苦手な子どもがいる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の意見をはっきり伝えたり、友達の考えをしっかりと聞いたりする力をつける ・仲間の話に耳を傾けることの良さや、アドバイスをし合って情報を交流させることの楽しさを味わう 				
準備	<ul style="list-style-type: none"> ・問題にする元の絵をあらかじめ描いておく ・B4くらいの大きさの紙 ・フェルトペン ・ストップウォッチ 				
学習・活動		支援の観点・留意点等		資料等	
1 導入					
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: 80%;"> 絵を見て記憶し、できるだけ同じになるように協力して描こう </div>					
2 主活動 ○やり方を知る ①各チームの最初の一人が廊下に掲示してある絵を見に行き、その絵を記憶する ②チームに戻り記憶を頼りに絵を描く ③2番目の人から合図で次々と順番に絵を見ては戻って描く ④足りないところや不確かなところを記憶して戻り、次の人に見るポイントを頼む ○チームごとにゲームの作戦や順番を考える ○ゲームをする		<ul style="list-style-type: none"> ・グループは4～6人 ・絵を例示して説明する ・元の絵を廊下に貼る ・チームで協力して絵を完成させるゲームなので、他のチームに見られたり聞かれたりしないようにする ・見に行く時間を統一する。 ・問題となる元の絵は、誰もが描ける単純な形や模様にする ・失敗を責めることなく次の人が確かめて付け加えたり直したりしてチームで完成させる 		例示の絵 元の絵 グループごとに 画用紙1枚 フェルトペン1本	
3 ふり返り		<ul style="list-style-type: none"> ・チーム内の声のかけ方や活動の良い点等、教師が気づいた良さを紹介する 			
配慮事項	<ul style="list-style-type: none"> ・絵の上手下手や記憶違いなどで感情的にならないようにする ・友達に頼んだり頼まれたりすることや分担して責任をもつ体験を通して、協力の成果を味わえるようにする 				

参考；小学校特別活動研究会編 教育技術MOOK「図解 みんなが楽しむ ゲーム・集会活動」小学館、2007年